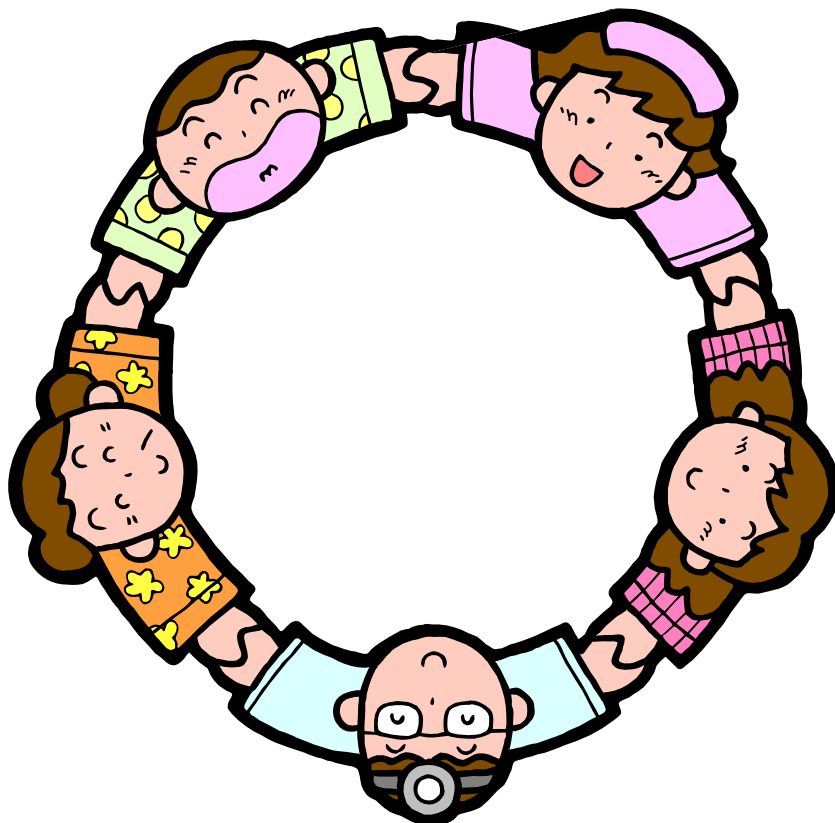


肺がん地域連携パス

「肺がん術後経過観察」連携パス



あなたのお名前

さん

かかりつけ医

(TEL — —)

近畿大学病院

〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東377-2

TEL 072-366-0221 (代表)

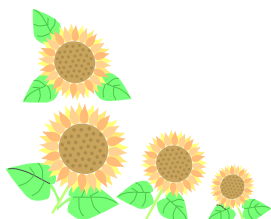


大阪府がん診療連携協議会



もくじ

- 🔔 はじめに : p.2
- 🔔 肺がん地域連携パスの使い方 : p.3
- 🔔 私の診療情報 : p.4
- 🔔 決定した連携医療機関の一覧 : p.5
- 🔔 退院後の日常生活 : p.6~p.10
- 🔔 退院後もこれだけは忘れずに! : p.11~ p.12
- 🔔 メモ : p.13~ p.14
- 🔔 術後の治療計画 : p.15~ p.18
- 🔔 患者さん用メモ : p.19~ p.22
- 🔔 近畿大学病院の各部署のご案内 : p.23~ p.24



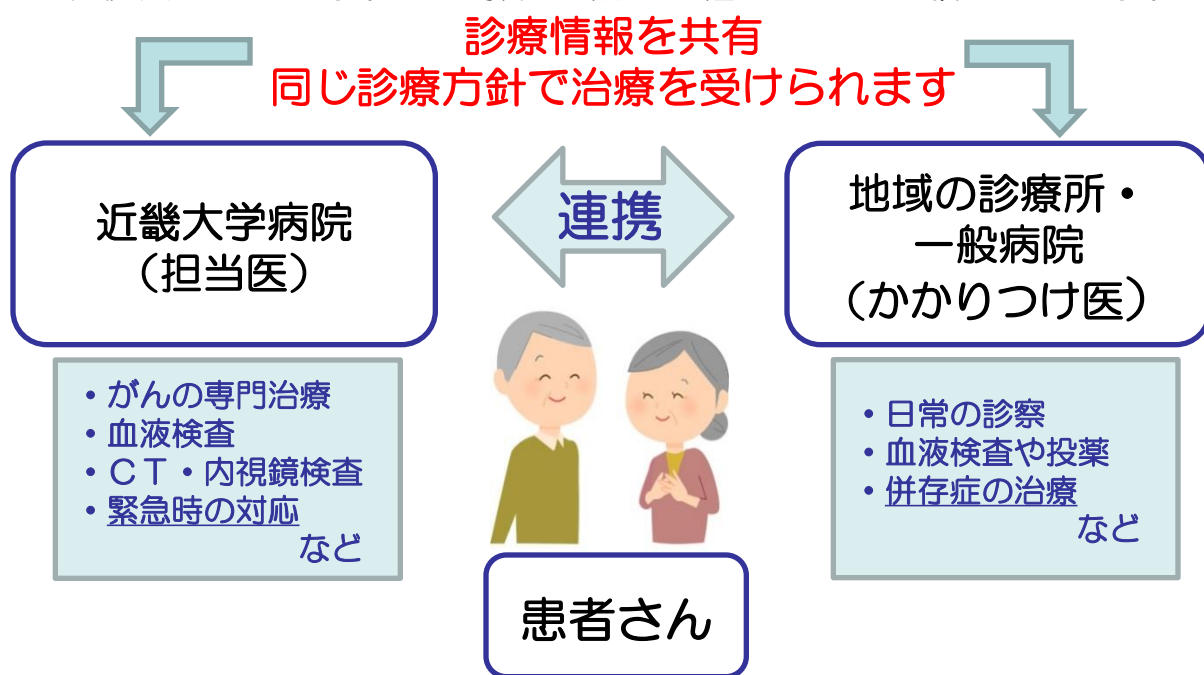
はじめに

『がん地域連携パス』とは、手術などの治療後に、近畿大学病院の主治医とかかりつけ医（診療所）が、あなたの治療経過を共有するための「治療計画書」のことをいいます。

この治療計画書『がん地域連携パス』に沿って、二人の主治医の先生が、あなたの治療経過をサポートします。

病状が落ち着いているときの投薬や日常の診療はかかりつけ医が行い、専門的な治療や定期的な検査は近畿大学病院が行います。

大阪府では、連携パスによる診療内容を府下のどの地域のがん拠点病院と「かかりつけ医」でも利用しやすいように統一したもの（統一型連携パス）を作成し、使用しています。ご理解、ご協力の程よろしくお願い致します。



患者さんのメリット

かかりつけ医と近畿大学病院とを定期的を受診することで、患者さんの主治医が複数になる（味方が増える）と考えることができます。

地域連携パスを利用することで、患者さんやご家族のお話をもっとお聞きできるようになるものと考えています。

- ①通院時間や交通費（外来待ち時間や長い通院距離）を軽くし、患者さんの負担軽減も望めます
- ②重複した検査・投薬が避けられます
- ③併存症の治療も、情報を共有することで**安全に**受けることができます
- ④異常の早期発見やきめ細やかな対応が、複数の担当医、看護師、薬剤師などのチームから受けられます
- ⑤緊急時には近畿大学病院に紹介され、診療を受けることができるため**安心**です

肺がん地域連携パスの使い方

🔔 肺がん地域連携パスには、以下の内容が綴られています。

1. 私の診療情報
2. 決定した連携医療機関の一覧と連絡先
3. 退院後の日常生活
4. 退院後の食生活
5. 術後の治療計画（患者さん用連携パス）
 - ・ 5年～10年先までの診療の計画をたてたものです。
 - ・ 「いつ・どこを受診するのか」といった予定が一目でわかる他、患者さんの症状なども記入できるようになっています。
6. 患者さん用メモ

🔔 患者さんの状態や思いは「肺がん地域連携パス」を通して情報交換を行います。

🔔 肺がん地域連携パスは、患者さんと医療機関が連携して患者さん中心の治療を切れ目なく続けるための貴重な資料です。

🔔 患者さんの個人情報が含まれますので、患者さんご自身でしっかりと管理していただく必要があります。

連携の総合的な情報

看護、介護、服薬の情報



日々の診察

節目の診察

※医療機関を受診される際には、必ず医師にお見せください

私の診療情報

お名前

生年月日 年 月 日

住所

電話

緊急連絡先電話番号

血液型 型 身長 cm 体重 kg

アレルギー・今までにかかった病気

アレルギー性疾患 ()

心臓の病気 ()

腎臓の病気 ()

肝臓の病気 ()

消化器の病気 ()

その他 ()

介護情報について

決定した連携医療機関の一覧

かかりつけ医

(TEL — —)

調剤薬局

(TEL — —)

訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所等

(TEL — —)

連携病院

(TEL — —)

担当医療機関

手 術：近畿大学病院（ 年 月 日）

抗がん剤：

C T：

採 血：

投 薬：

退院後の日常生活

退院おめでとうございます！

手術後まだ症状が残っている方もありますが、次第にその症状も回復してきます。

特に胸部の痛み（神経痛のような又は圧迫されるような痛み）は半年～数年続くことがあります。しかし、人によって程度の違いはありますが、通常軽快していきますので安心してください。ただし、痛みの程度は体調や気温・天気によって左右されることもあります。

ご家庭に帰られてからは、次のことに注意して下さい。

退院後の日常生活

1. 日常生活

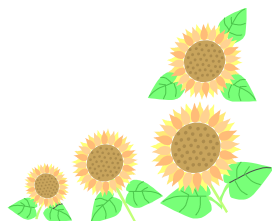
規則正しい生活を心がけましょう。

2. 運 動

退院後のリハビリとして、散歩やウォーキング・上下肢のストレッチを体調と相談しつつ行ってください。

はげしい運動（テニス・ゴルフ・ジョギングなど）は退院後のリハビリを十分に行った後（概ね退院後3か月程度）、再開してください。

不安な時や具体的なことは、外来受診時に主治医に随時、相談してください。





退院後の日常生活



3. 仕事

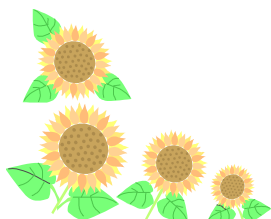
お仕事は内容にもよりますが、退院後の初回外来受診以降（退院より1～4週間後）より再開してください。

4. 睡眠

一日約6～8時間取るようにして下さい。

5. 禁煙

タバコは今後の経過に支障を来します。このまま禁煙を続けて下さい。



退院後の日常生活

6. 清 潔

チューブが入っていたところの抜糸は、退院後の外来で行いますのでそのままお願いします。

入浴は体力を消耗します。退院後は短時間の入浴もしくはシャワーのみから始めてください。

傷口の消毒は基本的に不要です。お風呂でやさしく洗っていただき、その上に市販の絆創膏をはっていただいてもかまいませんが、露出したままでも問題はありません。

万が一、傷口に赤み・腫れ・ほてり・膿が出るなどの症状があれば、連絡いただくか、外来で主治医に相談して下さい。軽症であれば連携医に相談していただいても問題ありません。傷口やチューブが入っていたところのかさぶたは自然にはがれるのを待ちましょう。

退院後の日常生活



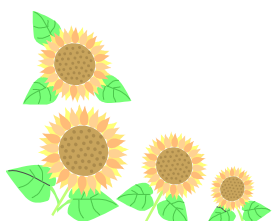
7. その他

風邪を引かないように十分注意し、帰宅時はうがい・手洗いをしましょう。

食事の制限は特にありません。高カロリー、高蛋白でバランスのよい食事を取りましょう。

衣服は深呼吸が十分できるように胸やお腹をしめつけないものにしましょう。

痛みのある方は傷を冷やさないようにして下さい。頓服で処方している鎮痛薬を適宜服用してください。痛みがないようであれば鎮痛薬は内服する必要はありません。ぬるめのお湯への入浴や温湿布が痛みに対して有効な時があります。



退院後もこれだけは忘れずに！

☆ 定期的な診察や検査に行きましょう

手術後5年を目途に、定期的な診察や検査を行います。診察や検査の間隔は、手術後の状態によって異なりますから、医師の指示通り、決められた日に診察や検査を受けるようにしてください。なお、**定期検査は肺がんを対象としているものです。他の病気をカバーするものではありません。**



定期的な診察や
検査を

☆ 毎月1回、自己検診を続けましょう

どんな病気でも早期に発見して、早期に治療することが大切です。毎月1回、日を決めて、ご自分で症状をチェックしてください。気になるところがあったら、主治医に相談してください。



🔔 指示された薬は忘れずに服用しましょう

病院で処方された薬は、手術後の状態を安定させるためや手術の治療効果を高めるために必要なものです。薬を服用するように医師から指示された場合には、指示された通りに忘れずに正しく服用してください。

副作用がある場合には、医師に申し出てください。



🔔 悩んでいるのはあなただけではありません

あなたが安心して治療や検査を続けていくためには、家族とともに医師や看護師さんとのコミュニケーションをよくし、一緒にこの病気と闘っていく気持ちが大切です。

まだまだ不安や悩みがあると思いますが、あなたと同じ経験をされた患者さんはたくさんいらっしゃいます。そして、その多くの方が、病気を克服し、充実した人生を送っていることを忘れないでください。決して自分のからに閉じこもってしまわないように、**明るく、希望を持って前進し、病気をしてかえって良かったと思われるような建設的な生活を送ってください。**

【あなたが手術を受けた日】

_____年 月 日

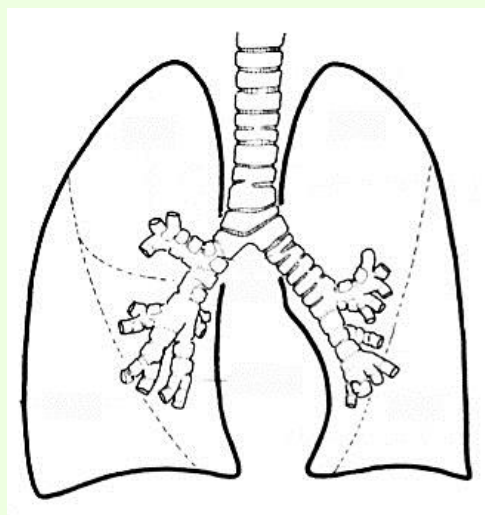
【診断について】

- 1、非小細胞肺癌
- 2、組織型:
- 3、進行度(病理病期): Stage I でした。

T: N: M:

【受けた手術】

- 肺部分切除術
- 肺区域切除術
- 肺葉切除術
- リンパ郭清術



【説明確認事項】

- 術後連携について

地域連携パス(連携診療計画表)による連携診療
および連携医(かかりつけ医)の説明

- 「私のカルテ」について
- 服薬指導

※ 退院にあたって、薬剤の処方がある場合は薬剤師から
服薬指導、服薬記録の説明を行います。

よくお聞き頂いて、理解できない場合はお気軽に
ご質問ください。

～メモ～

「肺がん術後経過観察」連携パス：連携診療計画表 (手術後1ヶ月～1年)

患者様への説明後、
チェックして下さい。



**連携・連絡
(退院時まで)**

術後連携の説明

患者様用パス説明

手術後後遺症・再発等
発生時の連絡先

確認の実施

		近大病院	連携医	近大病院	近大病院	連携医	近大病院
		1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	1年
受診日		/	/	/	/	/	/
診察		○	○	○	○	○	○
血液検査		○	○	○	○	○	○
腫瘍マーカー		○	(○)	○	○	(○)	○
画像検査	胸部X線						
	胸部CT			(○)	○		○
	腹部CT						
	脳MRI			(○)	(○)		(○)
目標	がんの再発がない						
	QOLが維持できている						
自覚症状	息苦しさがある						
	咳が出る						
	血が混じった痰がある						
	体重						
	発熱						
	その他						

「肺がん術後経過観察」連携パス：連携診療計画表 (手術後1年3ヶ月～2年6ヶ月)



内はあなたにご記入いただきます。
気になる自己診断項目を記録し、医師に相談しましょう

		連携医	近大病院	連携医	近大病院	連携医	近大病院
		1年 3ヶ月	1年 6ヶ月	1年 9ヶ月	2年	2年 3ヶ月	2年 6ヶ月
受診日		/	/	/	/	/	/
診察		○	○	○	○	○	○
血液検査		○	○	○	○	○	○
腫瘍マーカー		(○)	○	(○)	○	(○)	○
画像 検査	胸部X線						
	胸部CT		○		○		○
	腹部CT						
	脳MRI		(○)		(○)		(○)
目標	がんの再発がない						
	QOLが維持できている						
自覚 症状	息苦しさがある						
	咳が出る						
	血が混じった痰がある						
	体重						
	発熱						
	その他						

「肺がん術後経過観察」連携パス：連携診療計画表

(手術後2年9ヶ月～4年)

患者様への説明後、
チェックして下さい。



連携・連絡
(退院時まで)

術後連携の説明

患者様用パス説明

手術後後遺症・再発等
発生時の連絡先

確認の実施

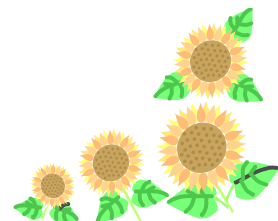
		連携医	近大病院	連携医	近大病院	連携医	近大病院
		2年 9ヶ月	3年	3年 3ヶ月	3年 6ヶ月	3年 9ヶ月	4年
受診日		/	/	/	/	/	/
診察		○	○	○	○	○	○
血液検査		○	○	○	○	○	○
腫瘍マーカー		(○)	○	(○)	○	(○)	○
画像 検査	胸部X線						
	胸部CT		○		○		○
	腹部CT						
	脳MRI		(○)		(○)		(○)
目標	がんの 再発がない						
	QOLが維持 できている						
自覚 症状	息苦しさがある						
	咳が出る						
	血が混じった痰が ある						
	体重						
	発熱						
	その他						

「肺がん術後経過観察」連携パス：連携診療計画表 (手術後4年3ヶ月～5年)

内はあなたにご記入いただきます。

気になる自己診断項目を記録し、医師に相談しましょう

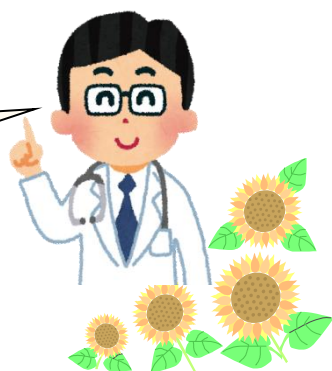
		連携医	近大病院	連携医	近大病院
		4年 3ヶ月	4年 6ヶ月	4年 9ヶ月	5年
受診日		/	/	/	/
診察		○	○	○	○
血液検査		○	○	○	○
腫瘍マーカー		(○)	○	(○)	○
画像 検査	胸部X線				
	胸部CT		○		○
	腹部CT				
	脳MRI		(○)		(○)
目標	がんの再発がない				
	QOLが維持できている				
自覚 症状	息苦しさがある				
	咳が出る				
	血が混じった痰がある				
	体重				
	発熱				
	その他				



患者さん用メモ

年月日	連絡事項等あればご記入ください	医師・看護師のコメント

気になることをメモし、医師に相談しましょう



患者さん用メモ

年月日	連絡事項等あればご記入ください	医師・看護師のコメント

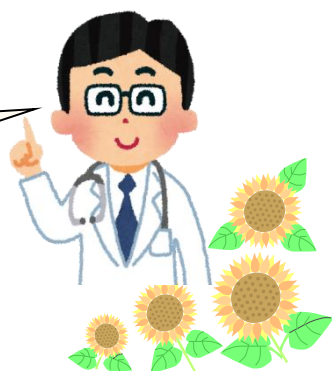
気になることをメモし、医師に相談しましょう



患者さん用メモ

年月日	連絡事項等あればご記入ください	医師・看護師のコメント

気になることをメモし、医師に相談しましょう



患者さん用メモ

年月日	連絡事項等あればご記入ください	医師・看護師のコメント

気になることをメモし、医師に相談しましょう



近畿大学病院の各部署のご案内

近畿大学病院では各診療科が単独でがん診療を行うのではなく、院内であるいは院外においても連携協力しながら、チーム医療を行っています。このチームの輪を地域にまで広げて地域で治す医療をすすめています。

患者支援センター

○医療連携

患者さんに安心して医療を受けていただくために、地域における医療機関とのスムーズな連携を図るため、病診・病病連携の推進に力を入れております。主に医療機関からの外来予約の調整業務を行っており、ご予約を頂くことにより、待ち時間の適切な医療の提供を支援しております。

○患者相談

医療に係る手続きの相談、費用に関する相談、苦情受付等
※公費負担や労災、交通事故など諸法の手続きは医事課公費負担窓口をご利用ください。

○福祉相談

通院・入院患者さんが安心して治療に専念できるようソーシャルワーカーが治療や療養の妨げとなる生活上の不安、心配などを患者さん、ご家族の方々と共に考え、解決の支援を行います。

○療養支援

「退院に不安がある、退院先が決定していない。」「在宅で療養するため訪問診療や訪問看護、ヘルパーや福祉用具、在宅改修について教えてほしい。」などのご相談をお伺いしています。退院後の生活を安心して送れるよう支援します。

窓口開設時間：月曜～金曜 9：00～17：00

土曜日 9：00～12：45

TEL：072-366-0221（代表）（休日を除く）

FAX：072-365-7161（全日受信可能）

がん相談支援センター

地域がん診療連携拠点病院として、がんに関するあらゆる相談（がん検診、がん情報、症状相談、診断治療、緩和ケア、セカンドオピニオン、アピアランスケアなど）をお受けしています。がんに関する困ったことはなんでも遠慮なくご相談ください。

受付日時：月曜～金曜 9：00～16：30

TEL：072-366-7096（直通）

（土日・祝日を除く）

緩和ケアセンター

緩和ケアセンターは、悪性腫瘍に伴う痛み（身体的、精神的、社会的）やさまざまな症状に苦しむ患者さんご家族に対して、専門の医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー、栄養士などがチームとなって協力して、症状を緩和し、苦痛を和らげる方法を考えます。実際に症状が起こる早期の段階から、患者さんや家族に病状を説明し患者さんと一緒になって療養生活の質の向上をはかります。緩和ケアは終末期のみにおこなわれるものではなく、がんの初期治療の開始から同時に勧められるべき医療で、患者さんやご家族の状態が改善されれば病院を離れて、再びおうちでの日常生活を過ごしていただくためのものです。

受付日時：月曜～金曜 9：00～16：30

TEL：072-366-7096（代表）

予約外受診/夜間・休日などの対応

緊急時や夜間・休日など、かかりつけ医を受診できないときは、予約外診療も受け付けています。受診の際は、救急外来や各診療科窓口受付までお問い合わせ下さい。

受診時にはこちらの冊子「肺がん地域連携パス」をご持参頂き、地域連携パスを利用している旨を、受付にお申し出ください。

TEL：072-366-0221（代表）





近畿大学病院

2019年4月改訂